応用研究 (Advanced Research)

専攻	選択・必修	開設時期	単位数	授業形態	担　当
情報電子	必修	1 年	2	研究	応用研究担当教員

【授業の概要】
それぞれの分野で研究を行い、技術者、研究者として直面する問題を解決する能力、創造性等を養う。研究にあたっては最先端の理論、技術、解法などの情報を自主的に収集し、常に新しい取り組みができるよう心がけ、自らの分野の専門知識を深める。この応用研究では、特別研究の前段階の調査や研究を行う。

【学修の進め方】
各研究テーマに対して、特別研究担当教員の指導より計画的に研究を進める。

【授業の概要】

各担当教員の指導のもとに研究計画を立て、応用研究を進める。
情報電子工学専攻の特別研究担当教員が主に実施している研究テーマを以下に挙げる。

知識情報系（情報工学）
義永 常宏：オートマトン理論に関する研究
奥本　幸：画像認識システムの実用化に関する研究
高山 泰博：自然言語処理および文書処理に関する研究
宮崎　亮一：音声・音響処理に関する研究

コンピュータシステム系（情報工学）
重村 哲至：教材用計算機システムに関する研究
柳澤 秀明：分散システムに関する研究
古賀 崇了：映像・音響情報の知的情報処理技術に関する研究

電子通信系（電気電子工学）
山田 健仁：機器制御システムに関する研究
大橋 正夫：層状無機結晶の合成と性質に関する研究
原田 徳彦：光情報処理応用
新田 貴之：コンピュータを援用した教育支援環境の構築に関する研究
室谷 英彰：半導体材料および半導体デバイスの特性評価と応用に関する研究

【到達目標】	自主的に調査や実験等を計画・遂行し、継続して研究に取り組むことができるようになる。		
【徳山高専学習・教育目標】	C2	【ＪＡＢＥＥ基準】	1(2)f,h
【評価法】	指導教員の全体評価（取り組み、理解度、達成度、レポート）70%、その他の教員のプレゼンテーション評価 30% とし、総合評価する。		
【テキスト】	特別研究論文集等		
【関連科目】	全ての科目		
【成績欄】	前期中間試験【　　】 前期末試験【　　】 前期成績【　　】 後期中間試験【　　】 後期末試験【　　】 学年末成績【　　】		